

【トラック1 前日譚 王子に忠誠を誓う姫騎士エルレカ】

《エルレカ》

イユーロ連邦騎士団長エルレカ、参上致しました。

殿下……ご心配は無用です。

ヒズル皇国との戦、我ライユーロ連邦騎士団が必ず勝利に導いてみせます。

明日、侵略者どもは嫌でも理解することでしょう。

わたしがなぜ水をつかさどる精霊の名……そう、ウンディーネと呼ばれているのか……

それでも私を心配してくれるのでドミニク……

ふふ……ありがとう。

ウンディーネの語源は「波」。

私という荒波はすべてを流しつくして、また元の海へ還るのです。

今回も必ず無事にあなたの元に帰ってきますから。

わたしは10年前に

皇国との戦争で父親を亡くしました。

あの時、わたしは自らが

どれだけ無力なのか思い知らされました。

あんなことは二度とごめんです。

国民にわたしと同じような思いを

させることもあってはなりません。

そう思って騎士に志願し、10年……。

わたしは自らの決断を後悔したことは

一度もありません。

……そんな顔をなさらないでください。

あなたは王になるお方です。

前線で兵を率いて戦うわけには参りません。

わたしは後方にあなたがいると分かっているからこそ

全霊をもって愛馬チャリオットを駆ることが出来るのです。

……勝った暁には、きっと王様だってわたしたちのことを認めでくださいます。

……わたしはそう信じています。

そしたら、あなたの好物だって
たくさん作ってあげますとも。

……今だって、あなたに触れたいんですよ？
手を繋いであなたと歩きたい……。
ええ……王様が認めてくださるまでの辛抱です。

イユーロ連邦騎士団長エルレカ、
ドミニク王子の槍として必ずや勝利を
我が手に掴んでみせます。

ちゅつ。

……では失礼します。

どうしたのですかダミアン部隊長。

わかりました。
ではすぐに我らの軍幕に戻るとしましょう。

いつでも泰然自若なあなたが血相を変えてどうしたのですか？
……敵の捕虜が口を割ったと。

ふむ……先刻我々が強襲した補給部隊が
皇国の秘密兵器を輸送していたと。
それがこの箱の中に……。

これは……カプセルですか？

……これを飲めば身体能力が著しく向上し
軍神のごとく力を発揮できると。
一見、何の変哲もないカプセルですが、そんな効果が……。
分かりました。あなたのことを信じます。

たった二つしかないこの秘密兵器を
誰に使うのか……考えなくではなりません。
ダミアン部隊長、ご苦労でした。

……イユーロに栄光あれ。

敵国の秘密兵器、
こんなに小さなものだったなんて。

誰に使うか、か——。
そんなの考えるまでもありませんね。

【トラック2 前日譚 電話で家族を安心させるヒーラーアリエル】

《アリエル》
もしもし。アリエルです。
明日から戦争が始まっていますから……
その前に話しておこうと思いまして。

……よしてください。戦争はお父様の所為ではありませんよ。
10年前の戦いで歩けなくなつたお父様の代わりに
私が赴くは普通のことではありませんか。

お父様はもう十分戦ったですから、
そんな風にご自分を責めないでください。

それに……この生き方が苦しいなんて思ってはいません。
家族の食い扶持を稼ぐために従軍しているんです。
何を悲しむことがありましょうか。
……そんなことよりも弟妹たちは元気ですか？

レナは志望校に受かったんですね。
トマスは絵のコンクールに入選……すごいじゃありませんか。
あ、シリルに代わって貰えますか？

いい、シリル？
私はしばらくの間、家には帰れそうもありません。
レナも全寮制の学校に行ってしまいます。
だから私に代わって弟妹たちの面倒を見てあげてくださいね。

ええ……帰ったら、あなたの大好きなフレンチトーストをたくさん焼いてあげますとも。

……だから、心配なんていりません。

お姉ちゃんが強いの、みんな知っているでしょう？

必ず勝ってみんなのところに帰りますから。

それまでの辛抱です。いいですね？

それでは、すべてを済ませたら…また電話しますね。

ふふ、大丈夫よ。安心しておやすみなさいな、シリル…。

ふう……。戦争なんて喜べるものではないですか。

負けたら家族だって酷い目に遭うんですから

勝つしかないんですよね。

みんな……お姉さんは絶対に勝って帰りますからね。

《エルレカ》

アリエル。

良かった、探したんですよ。

《アリエル》

お疲れ様です。

エルレカ騎士団長。

どうされましたか？

《エルレカ》

もう。二人の時はそんな堅い口調はよしてと言っているじゃありませんか。

ここで話すのもなんだからわたしの軍幕に来てちょうだい。

《アリエル》

秘密兵器ね……そうなんですか。明日の戦いを有利に進められそうでよかったです。

《エルレカ》

そうなんですか、ではありませんよ。

一見、ただのカプセル型の薬に見えるこれは

服用すると身体能力を著しく向上させるのだそうです。

だとすれば…この秘密兵器を使うのは

…アリエル、あなたとわたしであるべきです。

《アリエル》

どうして私にこれを？

《エルレカ》

あなたが単騎戦力として最優であることも理由ですが、
最も信頼がおける人間だから、というのが1番の理由に他なりません。
単騎が抜きんでて強くなる事にはリスクがあります。
わかりますよね？

アリエル、あなただから託せる事なの。

《アリエル》

……そこまで言われたら
断るわけにはいきませんね。
命令には従いますよ、エルレカ騎士団長。

《エルレカ》

そんな意地の悪い言い方をしないでよ……。
わたしは騎士団長としてではなく…

《アリエル》

ふふ、そんな顔をしないで。
やっぱりエルレカってからかいがいがあるわ。

《エルレカ》

むむう……。

《アリエル》

ねえエルレカ。戦争……絶対に勝とうね。
私たちの大切なものを踏みにじられないようにさ。

《エルレカ》

そうね。今まで国難に何度も打ち勝ってきた。
今度もあなたが一緒ならきっと勝てる。
そう思っているわ。

《アリエル》

私も……エルレカが一緒だと心強い。
ねえ、そっちが危なくなったら助けに行くから遠慮なく言ってよね。

《エルレカ》

うん。アテにしてるね。

じゃあ……武運を祈るわ。

《アリエル》

軍神ウースアグナーの加護があらんことを。

《エルレカ》

あなたもね。

《エルレカ》 《アリエル》

こうしてわたしたちは別れた。

まさか、あんなことになるとは

この時は思ってもいなかつたのだ。

【トラック3 皇国の罠 催眠で強制服従ご奉仕】

《エルレカ》

ん……んん……ここは？

わたしは戦場にいたはず……。

わ……！な、なんですかこの卑猥な格好は……！？

うっ……身体がむずむずする……。

はっ、はあ、この感覚は一体……。

あ……！アリエル。あなたまで捕まつたのですか。はあ、はあ。

首輪に……手錠まで……！

誰がこんなものを……！はっ、はあつ。

誰！？

……あなたは……！皇国の提督ではありませんか！

あなただったのですね。

わたしたちに卑怯な罠をしかけたのは。

《アリエル》

う……ううん？

こ、ここは……あ、エルレカ騎士団長……と皇国の提督！？

《エルレカ》

アリエル。気が付きましたか。

……とても残念なことですが……

我々は敗れてしましました。

《アリエル》

そ、そんなわけ……！でも状況から察するにそうですよね……。

一体何があったのですか？

《エルレカ》

わたしたちが奪取した皇国の秘密兵器。

あれはこの男が仕掛けた罠だったのです……。

罠とは知らずカプセルを飲んだ直後、

周りにいた兵士たちが苦しみ始めたのです。

《アリエル》

そ、そういえば……そうでした。

回復魔法を使えば使うほど味方は苦しむばかりで……。

《エルレカ》

あれを飲んだ人間は有毒ガスを発生させる生物兵器にされてしまう……

合っていますよね？

くっ！ 何がおかしいのですか！！

い、今すぐその首に噛みついでやりたいっ……！

《アリエル》

……思い出しました。

確かにあのカプセルで身体能力は向上、

我々二人だけで前線に突入し

奮闘しましたが……ガスマスクを着けた大量の敵軍に囲まれて……そして一瞬で……。

我々が飲んだ、あれは一体何だったのですか？

そ、そんな……。開発が中止されるほど危険な試作兵器を我々は……。

《エルレカ》

しかもその淫紋薬という名前はもしかして……。

やはり代償として性欲が……えっ、少しどころではなく数倍ですって！？

《アリエル》

しかも息だけでなく体液や皮膚、
何から何まで有毒なものに変化するなんて。
それでは、私たちが逃げ出しても
決して国には戻れないというのですか。

でも、その嘘には騙されませんよ。

だって、あなたは今ガスマスクを着けていないではありませんか。

《エルレカ》

あなただけが、わたしたちを無毒化できる？

ふっ、都合の良すぎる話ですね。

《アリエル》

待ってエルレカ、話だけは聞きましょ。
私たちの毒を無効化する方法はあるのですか？

《エルレカ》

あっ、あなたの体液をわたしたちの体内に取り込めば
淫紋の作用を抑えられるですって……？
どうやって信じろというのです。

《アリエル》

どうして服を脱いで……えっ？

《エルレカ》

わたしたちのお腹に浮いたものと
似た紋様が……。

《アリエル》

つまり当初は奴隸に淫紋薬を飲ませて戦場で戦わせ、
提督のあなたは奴隸を命令通りに動かすため、淫紋と対になる消淫紋を服用したと。
……皇国のモラルがうかがい知れるというものです。

《エルレカ》

ま、まさかあなたしかそれを服用しなかったわけっ……。

なんですって！？それでは……あなたを殺せばわたしたちの
身体から淫紋を消すことはできないと……。

《アリエル》

あなたに従ってさえいれば恋人にも家族にも会えるということですね……。
本気で言っているのですか。

《エルレカ》

でもさっきからだんだん身体の疼きがひどくなってきているような……。はあ、ああつ。

《アリエル》

エルレカもですか？
信じたくはないですが、さっきから……か、身体に力が入らない……。

《エルレカ》

あなたののような卑怯な男の奴隸になって
生きろといいうのですか。そんなこと……！

《アリエル》

あなたの言う通りだったら、
私たちに選択肢なんて最初からないのでは？

《エルレカ》

アリエル、諦めるのですか！？

《アリエル》

違います、エルレカ騎士団長。
もう、死んでも汚名返上はできない……。
受け入れたくないけど、私たちのせいで祖国は敗戦したのですから。

だから、辛いけど……生きなくちゃ。ね…エルレカ…？

《エルレカ》

アリエル……そうね。

辛いのはわたしだけじゃない。

く、悔しいけど……あなたの提案を呑みます。

ごくつ。

あなたの奴隸に……なるわ。

お願ひしろですって……？

調子に乗らないでください。

《アリエル》

ま、待って行かないで。わ、私も……。

くう……わ、私を……あなたの奴隸にしてください。

靴を舐めろと……？

この屈辱、決して忘れませんよ。

ふあ、ちゅる、ちゅっ……ん、んんっ！

こ、これでいいですか？

《エルレカ》

はあ、あっ……わたしも？

ん！ふう……ふっ、ちゅる、んっくう……！

あ、あな、あなたの奴隸に……うう！

ちゅる、ちゅっ……してください、い……！！

ううっ！ あなたの奴隸にい！ちゅる！

してくださいああいっ……！！ぶはあ！

く、うう……これでいいんでしょう？

《アリエル》

悔しいに決まっています。こんな仕打ち……！

《エルレカ》

なんですか、今のは。

えっ？ 理性がなくなるなんてそんなバカなこと……。

ああっ！

《アリエル》

ひやっ！

《エルレカ》

ああ……ご主人様。

わたしは今、ご主人様の催眠下にあります。

手錠を外してくださり……ありがとうございます。

わたしの名はエルレカ・ヴァイオレット。

連邦の元騎士団長で……

今はもうご主人様の性奴隸です。

ご主人様がお望みなら、

いつだってこの処女おまんこを捧げます。

もちろん、お尻の穴も、お口も、

おっぱいも、何もかもご主人様のモノです。

好きなだけ犯して、凌辱して、

朝も昼もなく…

分からせて種付けしてくださいます。

わたしという、おまんこはその為にあるのですから。

《アリエル》

ご主人様、手錠を外してくださり……ありがとうございます。

私の名はアリエル・リンリン。

連邦の空軍団長で、ヒーラー……でした。

ご存じの通り、今はあなたのオナホです。

はい……私も処女、です。

お望みとあらば、

こなれていないキツキツおまんこで

ご主人様のオチンポを見事にしごいて

オナホの務めを果たしてみせます……。

もちろんです。

喉までオチンポをねじ込まれても
ご主人様が満足するまでスペルマを
ごくごく飲み干してみせます。

《エルレカ》

はい……耳舐めですね。
ご奉仕させていただきます……ご主人、様。

ちゅっ、ちゅる……ちゅっ。

ご主人様、とってもいい匂いがします。ちゅ、ちゅっ……。
お耳も、少し汗の味がして、ちゅる、とってもおいしいです。
はあ……ちゅるっ。はっ。あああ……ちゅ、ちゅる、ん、んんっ！

《アリエル》

お手々で、ご主人様のオチンポを
しこしこしごけば良いのですね？
分かりました。お任せください。

ああ、もう大きくなっています。

はい……本物のオチンポには触ったこともありません。
とっても立派なオチンポです……！

《エルレカ》

ちゅむ、ちゅる……ふああ、ご主人様っ。
こんなにご主人様に触れさせて頂いて…
わたしたちはなんて幸せ者なんでしょう。

《アリエル》

あ、ああ……とっても熱い、です。
ドク、ドクって……脈打って、います。
ああ、こんなに硬くて大きいなんて、
思いませんでした。

《エルレカ》

ちゅっ、ちゅるりゅ、わたしも早くご主人様のオチンポ、
しこしこさせて頂きたいです……ちゅ、ちゅる
それでお手々にスペルマいいっぱい出していただいと……ちゅるっ
それを舐めて全て飲み干してみせらるんです……ちゅるっ、んんう！

ちゅるる、ああ……言つてゐると興奮して……

濡れてしまひましたあ……！

《アリエル》

すごい大きい……んっ、しこ……しこっ。

もっと強く激しくですか。

はい、しこしこしこ……んんう、

ご主人様のが気持ち良さそうにビクビク動いてます。

どうぞ、私めのお手々でも、

顔にでも、おっぱいでも……好きなところに

射精してください。喜んで受け止め……ます。

《エルレカ》

ちゅるる、ちゅつ。

アリエルのほうばっかり、ずるいです……！ちゅ、ちゅるるるっ

わたしだってご主人様のザーメンを喉で受け止めて、

ちゅるる！ 飲み干したい……のにいっ。

《アリエル》

あっあ、ご主人様のオチンポ気持ち良さそう……！

んっんっ、しこ……しこ、ああっ。

しこしこしこしこっ……しこしこ、ああっ。

私も興奮しておまんこからいやらしいおつゆが

溢れてしまっています……！

えっ、出るのですか？

ああ……出して、思いっきり出してください……！

ああああああっ！！？？

《エルレカ》

んああ、ちゅるる！

はあ、はっ……ご主人様のザーメンいっぱい

出していただい……アリエルが羨ましいです。

《アリエル》

はっ！？ わ、私は一体何を……ええっ！？

手にいっぱい付着したこの液体はもしや……！

エルレカ、どうしてその男の耳など舐めているのですか。

《エルレカ》

ちゅるるる、ちゅつ、んふう。

アリエル、そのスペルマ、いらないならわたしに下さい……ちゅ、ちゅる……。

《アリエル》

催……眠？

催眠をかけて私たちを好きに操っていると？

※録音再生

こ、こんなことを……私が？

催眠など卑怯な手を使って……く、ううっ！

い、嫌です！せ、精液を飲むなんて、しかも耳元で……。

うう……！ どうせ飲まなくては

私たちはおしまいなのでしょう？

か、感想ですって？

そんなの最悪以外に何があるというのですか。

……分かりました。言います、言いますから！

く……臭い。

はあ、はっ……ちゅる、ちゅつ、ん、んんっ！

こんなネバネバのを全て飲み干すなんて……ちゅる、ちゅつ。

ごく、ごっくん、ごきゅつ、んふうう……！

べちゃっと唇に付着して気持ち悪いいっ……。

私が飲むのを眺めていて楽しいですか？

んん……か、必ずあなたを殺します。

ちゅ、ちゅる……ごくっ。それまで楽しみに……

し、していなさい。ごきゅ……んんっ！

ふはあ……はああつ。

《エルレカ》

ちゅっぱ、ちゅるる、ちゅむ……ちゅる！

アリエルばっかりずるいです、ご主人様あ。ちゅるる！

《アリエル》

また催眠を……卑怯者お！

……はい。私はご主人様のオナホ奴隸です。

次は私めが耳舐めをさせて頂きます。

ちゅっ、ちゅむ。んふう、どうですか？
ご主人様のお耳もたっぷり楽しませます。
どうか気持ち良くなってくださいませ……。
ちゅ、ちゅうっ。んふう、あああ……！

《エルレカ》

今度はわたしにオチンポを
しごかせていただけるんですか？

……はい。恋人はおります。
連邦の第三王子ドミニクです。

いえ……手すら繋いだことはありません。
わたしの処女も初フェラも初キスも、
全てご主人様に捧げます……んふふ。

わあ、ご主人様のオチンポ、もうバキバキにフル勃起して……
熱くて硬くておっきくて、とっても素敵です……！

始めますね？

しこ、しこ……んふう。
ザーメン出したばかりで若いオスの匂いが漂ってきて……
ああっ、興奮しておまんこが濡れてしまします。
しこしこ……しこしこ！

《アリエル》

ちゅっ。ちゅぱあ、ちゅっ、ちゅうう……！
ご主人様にスペルマを恵んでもらって
耳舐めご奉仕までさせて貰えるなんて……嬉しい。
ふあ、ああっ……ちゅる、ん、んんっ。

《エルレカ》

しこしこ、しこしこしこしこ……！

ふああっ、ご主人様のオチンポが気持ち良さそうに

ビクビクって跳ねています……しこしこもっとしますね……！

《アリエル》

ちゅぱっ。ちゅっ。ちゅむむ……！

ご主人様……ちゅぱ、ちゅるる、悦んで貰えて私も嬉しいです、んっ、んんっ！

《エルレカ》

しこしこ、しこしこ……んっ、んんっ。

もしかしてご主人様、イクんですか？

わたしのお手々に熱いスペルマいいっぱい

出してくださるんですか？

出して……出してください。

もっと近くに？ 分かりました……あっ。

ちゅるる！ ご主人様のキス……んああ嬉しい、です。

ちゅぱ、ちゅるる、とってもキス上手い……！

これこそわたしが求めていた、本物のキスです……！

……え？ わたしどうして……んああ！

はっ放して！ どうしてあなたなんかとキスを……！

ちゅるる！ 唇を……はっ放せえ！

だっ誰があなたの唾液なんて飲むのですか、

やめっ……んん！

やめなさいって言っているのにっ！

はあーっ、はああ……催眠ですって？

ううっ……！ 何をしようとしていたのか

尋ねるまでもなさそうね。

あ、アリエル！ 正気に戻って！

《アリエル》

ちゅっ。ちゅるる……んふああ。

ちゃんとご主人様にご奉仕しなくちゃ。ちゅる。

ご主人様。私のほうがエルレカよりも忠実な奴隸でしょう？んん……ちゅぱ。

《エルレカ》

どうせあなたが催眠して言わせているんでしょう？

※録音再生

なんですかこれは！？

どうしてわたしが、こんな破廉恥なことを……！

ち、違います！ わたしが望んでいるはずがありません！

あ、あなたに催眠されていなければ
こんなことを言うはずがありません……！

え？

嫌です、さっきは催眠されていたから仕方がないものの、
そんな汚らわしいもの、触りたくありません。

くっ……！仕方ないです、いいでしょう。思いっきりやってやります。
痛くて音を上げるといいのです。

ほら……！！

えっ、気持ちイイ……？

こ、この破廉恥な！ 恥知らずが！

これでどうですか！

こんなに強くても気持ちいいと言えますか？

えっ？ ビクビク動いて……何？

きやふううう！！？

な、生温かいこの液体はまさか……！

お、女の顔に精液をぶちまけるとは何事ですか！

それにこの匂い……うう、あなたは本当に最低ですね。

なあ！？

飲めといいうのですか、これを。

くう……！この身に受けた恥をすぐためなら、

なんだって……。

んっ。ちゅる、ちゅるる……！

味を？ い、いいでしょう。よく聞きなさい。

な、生臭くて、苦くて……最悪の味をしています。

んっ。ちゅるる、ちゅう……！

ごっ……くん。ああ、量が多すぎて飲みきれない……っ。
ふう、んんう、ごきゅ、ご……っくん……！

はあーっ……はああ……はっ。

お、お望み通りあなたの最低最悪な
精液を飲み干してあげましたよ……！

《アリエル》

はっ！私はまた……！

《エルレカ》

アリエル……正気に戻ったのね。

さあ、もうやることは済んだでしょう？
その汚らわしいモノを早く仕舞いなさいっ！

《アリエル》

エルレカもスペルマを飲まされたんですね……。
許せないです……！

《エルレカ》

必ずこの淫紋を消す方法を見つけ、
あなたに復讐してみせます。

《エルレカ》

この時のわたし達は、まだ信じていた。

《アリエル》

辱めに耐え抜けると。

《エルレカ》 《アリエル》

そう……信じていた。

【トラック4 元姫騎士&元ヒーラーの精液奪い合いフェラ奉仕】

《エルレカ》

はあ、はああ……。

んっ、んんう……はああつ。

《アリエル》

大丈夫？ エルレカ。

はっ……はああ、ああつ。

《エルレカ》

わたしはまだ……大丈夫。

アリエルは？

《アリエル》

それが……。身体がむずむずして……

じっとしていると変になってしまいそうで。

《エルレカ》

あの男の体液を摂取しなければ

生きていけないというのは本当なのね……。

わたしたちにいかがわしいことをしておきながら、
何日も留守にするはどういうつもりなんだ……。

あっ……戻ってきたわ。

何日もわたしたちを放っておくとは何事ですか！

んああ……！

《アリエル》

くうう……！？

身体が、あっ、あああ、疼いて……ああ！？

《エルレカ》

あ、アリエル。大丈夫、ですか？

気を確かに……強くもつのです。はあ、はあつ。

《アリエル》

わかって、います。

あなたが何か……したのですね？ うああ！？

《エルレカ》

や、やはり淫紋が強く反応して……。んはあ、はあ。

アリエル…確かにこの男の言う通り、常人だとおかしくなるかもしれない強さですね…

でも…

はあーっ、はああ、ああっ。

わ、わたしたちなら耐えられ、ます。

《アリエル》

ううう！？ こ、このままじゃ……！

早くっ、止めてちょうだい、っ……！

はあはあっ！

ま、また汚らしいモノを出して……！

今度は何をさせるつもりですか？

《エルレカ》

く、口に含めというのですか！？

《アリエル》

上手くやったほうに、

精液を優先的に与える……？

《エルレカ》

アリエル！ この男の言うことに耳を貸してはいけません！

《アリエル》

はあ、ああ、私が貰います！

《エルレカ》

アリエル！

団長の誇りはどうしたのです？

《アリエル》

こ、このまま淫紋の力を
強くされてしまったら……ああ、
頭が変になりそうで……！

い、淫紋の力でこうなるように
仕組まれているのですから……はあ、ああっ。

ちょっと男のモノを咥え、て……
精液を飲む、それだけ……です。はふう、ふうう！
魂まで売り渡すつもりは……ありません。

《エルレカ》
わたしに耳を舐めろと？

くっ！精液がないと困ると分かっていて卑怯な！
いつか思い知らせてやります……！

やればいいんでしょう？
ちゅるる。んんっ、どうして耳など……！

はあ？ フェラチオなど、したいわけがないでしょう！
ちゅるる、ちゅっ。んふ……！

《アリエル》
そ、それでは始めますよ。
ぴちゃ、ぴちゅっ、ちゅるる……んっ、ん！
ちゅぱっ、ちゅっ、ちゅむ……んふう。

え？ 舐めるんじゃなくて咥えろと？
くっ、ここまで来たら……。

あむっ。先っぽを咥えてあげましたよ？

ちゅば、ちゅるる……んんう！
生き残るために、仕方ないことですから……
ちゅむむ、ちゅるっ、ちゅっ……ちゅる！

《エルレカ》
ちゅっ、ちゅるる……んんう。
んああ、敵国の将を捕らえて性欲処理をさせて。
れるちゅ、これで満足ですか？
ちゅっ……ちゅる、う、ううっ……！？

まっ、また淫紋が……う、疼いてえ！
わたしも……もう、だめ……が、我慢、でき……ないっ。
王子……こんなわたしを許して。ちゅむ、ちゅるる！

《アリエル》

れろじゅる、もっと深くですか？
しかも激しく？ うっ、うう……！

ちゅぶっ！ ちゅぶぶ！ じゅっぷ！
じゅぶぶっ！ じゅむむ！ じゅるりゅ！

ふああっ、はあ、はっ……じゅむむ！
じゅっぷ、じゅぶぶ！ んっんうう！？
オチンポがお口の中で大きく……！？
んうううっ！？

んくっ！ んううう～っ！！？
こ、こんなにいっぱい出されても……うう！
のっ飲めません！
んん、うう！んんん！
ああ！ ネバネバして、舌に絡みついで……
なかなか、飲めない……！

ああ、なんて匂いなの……！
鼻の奥まで犯されてるみたいいっ……ちゅぱ、
ちゅるる、ちゅっ……ごっ……くん！

《エルレカ》

はあ、ああっ、アリエル……ちゅるる、
もしかして嬉しいの？
背筋ゾクゾクって震わせて……。

わ……わたしだって。いますぐ欲しいのに……

ち、違います！
身体が変になってしまふから……仕方なくです！

《アリエル》

まだ精液、出てるっ……！

んああ、お口からこぼれて……ああっ。

《エルレカ》

アリエル、それわたしにもください……！

《アリエル》

あげません。だってこれは

私がしゃぶってイカせた見返り、なんですから。

今飲まなければ私だって……

変になってしましますから。

れろ、ちゅる、ちゅるるるる。

《エルレカ》

アリエル、床に落ちた精液まで舐め取って……

わたしも早く摂取しなくては……！

身体が……熱くて、疼いて、

どうにかなってしまいそう……！

《アリエル》

ぴちゅつ。ちゅるる！ ちゅぱつ。

ごきゅ……ごっく……ん！

はあ、あああ、はあ……はあっ。

ぜ、全部……飲み干してみせました、よ。

お礼？ ここまでできたら……こ、これぐらい。

《エルレカ》

ちゅっ、ちゅるる。あ……アリエル？

ああ……誇り高き連邦の空軍長が土下座までして……なんてこと。

《アリエル》

ザーメンをめぐんでくださって……

ありがとうございます。

私に優先的に精液をください……ませ。
これは仕方ないことなんです。
生きていなければ家族にも会えないから……。

《エルレカ》
ちゅるる、ちゅっ。んああ……！
うう、くっ……わ、わたしも。
せ、精液……めぐんでください。

騎士の誇りを失ってなど……いません！
あなたの……んんう、スペルマ……！
わたしにも、飲ませて……くだ、さい……！

よ、悦んでなどいません！
これは鳥肌です。
汚らわしいものを咥えさせられることに
対する嫌悪感です。

そ、それではわたしも……
王子……こんなわたしを許してください。
ちゅっ、ちゅるる……んんう！

こうやって裏を……ちゅぱ、ちゅっ、ちゅるる！
しっかり舐めてやりますとも。ちゅ、ちゅるる！

《アリエル》
……は、はい。
身体の火照りは驚くほど抑えられました。
……今度は私に耳を舐めろと？
いいでしょ……エルレカにも
新鮮な精液をたっぷり与えて貰わなくてはいけませんから。

……はあ、はああつ。
ちゅっ。ちゅるる、ちゅむむ。
ちゅ……ちゅるる、はあ、はつ……ちゅるりゅ！

《エルレカ》
ちゅっ、ちゅるる……んんう！

ペロペロ舐めているばかりではだめですって？
くう……！ 淫紋さえなければ、
こんないかがわしいことをせずに済むのに……！
身体が……あ、あつういっ……んんううつ。

咥えればいいのでしょうか？
やりますとも……あむつ。じゅぷつ！
じゅぷぷ！ んんむう、じゅむむ、じゅぷ！

もっと深く？ こんな大きいモノ……
全部咥えられるはずないのにい！

え、ええ。とても大きいです。
こんなものを頬張ってしゃぶるなんて、
そんなこと……！

言われなくたって。
んじゅつ、じゅむむ、じゅぷぷ！ じゅぷつ！
じゅっぷ、じゅっぷ！ ふああ……変な味いっ……！

絶対に淫紋を消して
あなたに復讐してみせます……じゅむむ！
じゅぷぷ！ じゅぷ！
生きて王子に再会して……ふああ、
じゅぷぷ、じゅる！

《アリエル》
ちゅっ、ちゅるる、んふう……！
ああ、あんなに深くオチンポを咥え込んで……！
はあ、ああっ……さっき精液を飲んだばかりなのに
身体がまた火照って……！

《エルレカ》
じゅむむ……わたしが上手？
それなら、わたしに優先的に精液をくれるのですか？

ち、違います！
これは生き残るため仕方ないことですから……！

笑うんじゃありません……くうう！
じゅふふ！ じゅっぷ！ じゅっぷ！
ぢゅむむ……んんう！ 変な汁が溢れきてる……？
……じゅるつ。じゅつ、じゅうう……！
ごっく……ん！
あ、ああっ。生臭くでしょっぱいい。
な……なんですか、この感覚は？ ふああっ……！

じゅむむ！ じゅっぷ、じゅふふ！
わたしたちが悦んでフェラチオしていると
思わないでください……！

《アリエル》
ちゅるる、ちゅつ、ちゅる……んうう！
私にもう一度チャンスをください。
エルレカよりも上手くやってみせます、から。
そしたら……私に優先的に頂けますよね？ 精液……。

《エルレカ》
じゅる、ぷはあ！ いけません、その男の思うつぼですよ！

えっ。アリエルにもう一度チャンスを？
そんな……！ だ、だってわたしはまだ途中なのにつ。

はあ、はあ、さっき上手くやったほうに
優先的に与えるって言いましたよね？
見ていなさい。どちらが上手か……
思い知らせてあげます。

あむう……じゅふふ！ じゅふふっ！

《アリエル》
ちゅつ、ちゅるる……んああ！
エルレカ、あんなに頬をすぼませて
深く咥え込んで……あ、ああっ！ す、すごい。
ちゅ、ちゅるる……んふうう！

《エルレカ》
どうせ他に誰も見ていないのですから、
な、何をしようとも同じです……ぢゅむむ！

じゅぶぶ！ じゅるる～～っ！！

はあ、ああっ、わたし……オチンポを喉まで咥えて、
夢中になってしまふってるなんて……！

じゅぶぶっ！ じゅるる！ じゅるっ、んう！
じゅっぷ、じゅぶ！ じゅむむ！

えっ？ 出る？
何が……あっ！？

んみゅうう！？ んっ！ んんっ！
あっ熱うい……！
喉に直接っ……熱くてネバついたのが
絡みついでくる……！

ああっ、言われなくとも……
ごきゅつ……！ ごくっ、んんうう……！！

《アリエル》
ちゅるる、エルレカ嬉しそう……。
アソコからもじんわり愛液溢れさせて……！

《エルレカ》
ちっ違いますアリエル、これは……身体が、
か、勝手に反応して……んんっまだ出る！？

ごきゅつ、ああ……なんてこと、
ネバネバでドロドロで、喉にひっかかる……
んんう！ 簡単に飲み下せ……ません。

はあ、ああっ。そうでしょう、さぞや愉快でしょうとも。
敵国の女を奴隸にして、フェラチオさせて……
あ、あまつさえ精液まで飲ませているのですから。

だっ、だから悦んでなんかいません！
背筋がブルブル震えているのはあ……
これは淫紋のせいです。そうに決まっています……！

ちゅるる、ちゅつ……ごくっ！
ええ？ まだ出……きやう！？

んああ！ 顔にまでぶちまけて……んうう！
あ、ああっ……この匂い。臭くて仕方ない、のにっ……！
嗅いでいると頭の奥がビリビリって痺れて……
ああ、はああ、はあっ……
り、理性が溶かされてしまいそう、です。

うう……そ、そうです。
認めたくありませんが、精液を……
飲んで、身体の隅々まで行き渡るような
不思議な感覚があり……ました。

《アリエル》
エルレカの足元に垂れて……こぼれましたよ。
その精液、要らないのでしたら私にくれませんか？

《エルレカ》
え？ こ、これは……ダメです。
自分の分はきちんと自分でして、貰ってください。
はあ、はっ、ぴちゃっ、ごっ……くん。

確かに命令されていないのに飲みました。
でも、仕方ないんです。
どうかしてるって思っていても……
と、止められない、なんて……。

え？ またどこかに行くのですか？

《アリエル》
私たちのこと、忘れないでくださいね。
私たちは……あなたがいないと死んでしまうのですから。

《エルレカ》
……本当に行ってしまったわね。
はあ、あああ……こ、こんなことを続けていたら……
きっとそのうち、どうにかなってしまう……！

《アリエル》
エルレカ。さっさ、
精液を飲んだとき……どう感じた？

《エルレカ》

認めたくないけど、
砂漠で水をみつけて、飲み干したような……
不思議な充足感があつて……
それだけで、身体の奥が……その。

《アリエル》

アソコがきゅんきゅんきちゃった？

《エルレカ》

う……うん。
こんなこと続けていたら、わたしたち……
きっと、おかしく……なって しまうわ。

《アリエル》

そうね……。

《エルレカ》

初めて味わう子宮の疼きを感じながら、
わたしたちは部屋から去ったあの男が
次はいつ戻ってくるのか。
そんなことばかり考えるようになっていた。

【トラック 5 元姫騎士 淫紋に負けて痴女化快楽墮ち】

《エルレカ》

はあ、あっ、ああ……アリエル。
前に……ん、んんっ。精、液を貰ってから……。
な、何日ぐらい経ったの？

《アリエル》

多分……170時間、ほどかと。
だいたい……な、7日よ。。
んうう、はふう、はっ……はあっ。

こんなに放っておかれたらどうなるか、
あ、あの男は分かっていないのかしら？
も……もう、私も限界……。

《エルレカ》
まだ7日？
も……もう一月ほど
こうしているような気が……。

アリエル……き、気を強くもって。
そうでないと……。

《アリエル》
し、しっかりしてエルレカ！
私が付いてるよ。
何とかするからね。

《エルレカ》
ああ、し……したい。エッチしたい……！

《アリエル》
うわ言で、なんてことを……。
わ、私だってもうエッチなことしたくてしたくて
頭がおかしくなりそうなのに……！
ああ、早く戻ってきて。
このまま放っておかれたら、
わ……私たち絶対におかしくなって、しまうわ……！

や、やっと……来ましたね。

ご覧なさい、エルレカの様子を。
もう限界です。

わ、私？私はまだなんとか。
……個人差ですか……。

とにかく、エルレカを助けてください。
私の……大切な友達なんです。

《エルレカ》

あ、アリ……エル。はあ、ああっ。

や……やっと戻ってきたの、です……ね。

どうか、わたしにあなたの体液……を。

え、何を言っているのですか？口で……させてください……！

わたしは、まだこんなところで死ぬわけには……！

《アリエル》

エルレカ、もう経口摂取では間に合わないから、

直接……おまんこの中に出すしかないと、

この男はそう言っているのではないしょうか？

《エルレカ》

ま、まさかそん……なっ。

そ、そうですよ。処女なのですから

初めてが怖いに決まっています……んんう。

さ、さあ……やるなら、さっさと始めなさい。

わたしは覚悟……できて、いますよ。

くっ……！　い……いい、でしょう。

こ、これは仕方ないことなん、ですから……

はあ、ああっ。う……うう！

《アリエル》

エルレカ……辛いのに土下座までさせられて。

《エルレカ》

おっ、お願ひします……わ、わたしのおまんこ……に、

ご主人様のオチンポめぐんでくださいっ……！

もう何日も、エッチなことばかり考えてしまって……！

身体が言うことをきかないのです……！

た、たとえ非道なあなたが相手でも、

もう構わないとさえ思ってしまうほどに……はあ、はああ！

は、はい……ベッドに。

下着……ぬ、脱ぎますね。

《アリエル》

エルレカのパンツ、いやらしいおつゆが
あんなに溢れてる……。

《エルレカ》

はあ、ああっ。
わ、わたしの裸を見たのはあなたが……初めて、です。

え……？

じ、自分でその……お、オチンポを
ハメろというのですか？ んうう……！

ふああっ……！ も、もうそそり立って……！
こ、こんなものを……今から
自分で膣内に入れてしまうんですね……。

か、勘違いしないでください……はあ、ああっ。
決してあなたとエッチしたいわけじゃ
ないんですからぁ……！

《アリエル》

私にもキスですか……？

ああっ！？ 手でおまんこいぢらないでえ……！
ちゅっ……ちゅるる。
キスされただけで、頭の中……んうう！
直接、愛撫されてるみたい……！

《エルレカ》

入れますよ？ あ……！
あああああっ！！？

あ～～～っ！！？ おおおんっ！？

なにこれええええっ！！？
処女膜うっ……貫かれた、のにい……ひっ！？
ひううっ！？ おっ！ おっおっ！ お～～っ！！

あ～～っ！？ あ……！！
あああああ～～～っ！！！
頭あ！ おがじぐっ、なるうう～～っ！！

頭の奥う！？ バチバチって火花散ってえ……！
気持ち良いの振り切れ、でるう……
おっおっおっ！？

気持ちよくて意識飛びそうなのにい、
腰止まんない、オチンポ気持ちよすぎるうう！
おおお～～～っ！？

おおお、おかしい、さっきまで処女だったのにい、
おっ、おあ、こんなわけない、見ないでえ～～おおお、おほお！

《アリエル》
ちゅう、ちゅつ。ちゅるる……！
エルレカ、あんなに嬉しそうに腰を振って……！

腰を下ろすたび、おまんこから
いやらしい汁が飛び散ってる……！
ちゅつ。ちゅるる……んふう！

《エルレカ》
あう！ あうう！？ んあああっ！？
憎い敵国の男とまぐわっている、なんでえ……！
おっお、おおっ！？ おおお～！？

イク？ いっ！ イッてなんでえ……いまっ、せん！
おっお、おお～～っ！？
そん、なあっ……
これがイクっていうこと、だなんて……！

イクッ……イクイクッ、あああああ～っ！？
やだやだやだああっ！！？
一突きごとにっ……んああああ！？
快感っ、があ……津波みだいにいっ！！

《アリエル》

ちゅるる、んああ！？
あっ、ああっ！ 指でまさぐられたら、
ナカからどんどん愛液が溢れで……しまいます。
く、クリトリスを摘まないでえ……！

《エルレカ》

んああ！ ああああ～～～っ！！？
あなたっ、なんがあ！ あなたなんかあ……くひいい！？
だっ大っ嫌い、なのにいいいっ！！
オチンポ気持ち良すぎてやめられないいい！！

おっ！ おっぎいのがじゅぽっ！
じゅぽって突かれるとお……頭っあああ！？
頭っトンっ……じゃうううううっ！！！
おん、おおっ、気持ちいいことしか考えられない、おおお！

《アリエル》

んんあ……エルレカ、さっきまではまだ理性があったのに、んお、
淫紋のせいで……。んおお！指激しつ、いらっしゃいますう、おおお！

《エルレカ》

すごっすごすぎっ、るううう～～っ！？
イクイクイクッ！！ いぐうう～！！
イッてるのおおお～～っ！！
イギッぱなでえええ……ああああっ！？

おおおお～～っ！！
何がってえ！ 全部っ全部うう！！
気持ちいいっ！！ くひいいっ！？

奥う！ 奥う！
おまんこがまだまだ気持ちいいの求めちゃうう！
こんな、もうやだあ、おっ、おお！

すごっ……すごすぎ、るううう～～！！
おおお！自分から思いっきり腰打ち付けて、またイグッ！ イグうう！！ もう！
もお……おっおっおおお～～！？

やだやだやだああ！！

こんなのおがじいのにいいっ！！

腰振り、止められ……ないいいいっ！？

あひいいっ！？ ひぎいいいっ！！

あっあっあ……あああああっ！！？

ナカでオチンポがあ！ ビクビクってえ！！

もう、気持ち良ければなんでもいいからあ～～
オチンポ！オチンポもっとおおお、おおお！？

イグッイグイグイグ～！

あああああああ～～～っ！！？

イグうう～！？ いいっぢゃううう！？

おつおおつおほおおつ！？

きやふうう！？ うううっ！

しゅ……ごいいいっ……！！

子宮う、一瞬で一杯になる……ぐらいっ！

大量の精液、でえ……種付けされてるううっ！！

んああ！！ あああっ！？ はあ！

はあああ……！！

そ、そうです。中出し、されてしまった、のにい……！

背筋ブルブル震わせてえ……！

淫紋がなければ……わたしいっ、わたしはあっ……！

んああっ！ はあ……ああっ！

精液が……おまんこから溢れて……しまって……。

もったい、ない……ちゅるる、んうう！

《アリエル》

ちゅっ、ちゅるる、もう

躊躇いもなく精液をすすりにいくなんて……。

はあ、ああっ……！

わ、私も、もう限界い……！

【トラック6 元ヒーラー 媚薬に負けて肉便器化快楽堕ち】

《アリエル》

はあはあ……エルレカ？ 大丈夫ですか？

《エルレカ》

だ、大丈夫……です。
今まで味わったことのない感覚で……
り、理性が溶かされそうになりました。
でも、もう大丈夫です、から。

《アリエル》

はあ、ああっ、私にご褒美ですか？

んっ、またキス……ちゅるっ。
唾液だけでも……ごくっ！

ん……！？

んうううう！？
こ、これは一体……！

あああ！？ 触れられた、だけで……！
み、見ないでえ……！

《エルレカ》

アリエル！？
下着の上からでも、分かるぐらいに
乳首ビンビンに立たせて……！
一体どうしてしまったのです？

《アリエル》

ひいいんっ！！？

ち、がうの、ですエル、レカあ。
触られた、だけで……
クリトリスをこりこりされたみたいに、
感じてしまってえ……！

身体……身体がおかしくなって……くひい！
何をしたのですか？
私の身体に……んんううっ！？

び……媚薬？
だから……こんなに感度が、
高くなって……しまってえ……うああ！

やめてください、今触られたら……！
それだけで……んっ、ん～～っ！！

んっんあああ……！！ 私に覆い被さって、
何をするつもり……ですか？
せ、背中に乗られて動けない……

はあ、ああっ、じ……自分でお願いしろと？

《エルレカ》
ああ、アリエル……
ただ組み伏せられただけなのに……
あんなにおまんこから愛液を溢れさせて……！

《アリエル》
私だって……放置されている間、
エッチなことがしたくてしたくて
堪らなかったのです……！

たとえあなたのような最低な男であっても……
も、もう構いません。私のおまんこに、
あっあなたのオチンポ……くっください……！

あっあ……きやうう！？
ああああ～～～っ！？
くひい！！ ひっ！？ ひぎいい～っ！！

おっ！ おんっ！ おおおおっ！！

おおお～～～っ！！！！

処女だったのにい、ずんっ！ ずんってえ……おほおおっ！？

オチンポで奥まで突かれるたびに……！

頭あ真っ白になっでえ……うううっ！！

ひぐうう！！ イグッ！ イグイグッ！！

ああああああっ！？ いいっぢゃっでるうう！！

後ろから子宮えぐられて、

あたっ頭おかじぐうああああああっ！？

ひいい！？ イッでまずうううううう！！

一突き、ごとにいいいいいっ！？

あっあっあああ！？

騎士の誇り、なんでえ……！団長の責任なんでえ…！

ごっごんな快感に比べだらあ……おおお！！

おほおお～～！！ おっ！ おおん！！

ひっ！ ひいいん！！ ひぎい！ おおっ！？

《エルレカ》

あ、アリエル……さっきのわたしも

あんなに獣じみた喘ぎを

発してしまっていた、のでしょうか。

あっ？ ああ……ま、まさか催眠を？

はい……ご主人様のご命令通り、

膝立ちオナニーします……。

ああ、おっぱいもおまんこもいじって……

あうう、あんっ！ あああ！

ど、どうかわたしをご主人様好みの

メス奴隸に仕立ててくださいませ……んふう！

はっはあ、あああん……！

《アリエル》

おっおっ！ おお～～っ！？

しゅごいひいいいっ！？

子宮う！ がんがん突かれでえっ！！
イグう！ いいっでますうううっ！！
あっ、あっ！ あああ～～っ！！？
ダメええ！！ 乳首までいじられたらああっ！！

あっあっあああ～～っ！？
たっ種付けセックスぎもちいいいいっ！！
やだあああっ！？ わっ私の……
もっ戻れなくなりゅう！！
こんなセックス味わっだらあ……あああ！？
もうううっ！！ もううう！？
くひいいっ～～っ！！？

《エルレカ》

おっ、ああ、アリエルが羨ましい……
おあ、わたしもアリエルみたいに、んお、オナホみたいに扱ってください！

《アリエル》

あっあっ！？ じゅぶじゅぶ突かれだらあ……！
イクッイクイクいぐううう～っ！？
あああ！？ 出る！？ 出るんですか……！？
んあああ～っ！ おっおっおおんっ！！
出してくださ……あああ～っああっ！！
イク！ いぐうう！？ あっ！ あああ～っ！！！
いいっっちゃううう～～～！！！！

びゅくびゅくってえ！ でっででりゅ……！
んふうう！ しゅごっしゅごいひいいっ！！
あああああっ……！！
せ、精液に子宮う犯されでりゅうう！！

はああつ、はああああつ！

《エルレカ》
あっあ、あああつ！
わたしにも……た、種付けしてくださいね？
この後すぐに……！

……はっ！？
わ、わたしに何かしましたね？

あっ、ああ。おまんこから、とぶ……とぶって
愛液が溢れ出してきて……！

え、ま、またするんですか！？
さっさといたばかりなのに、やああっ！？
あんなの連續でされたら、
わたしいっ、もうダメになっちゃいます……！

あっ！？ ああああ～～～っ！！ またあああ！！？

そこに連邦の騎士団長、空軍団長などという
高貴な女はもう居なかった。

ただ蹂躪される悦びを知ってしまった
メス二匹がいるだけだった……。

【トラック7 時間は経ち…精液欲しがりオナホ妻堕ち】

《アリエル》
それから私たちは、毎日毎日、
夜となく昼となく可愛がられました。

……おまんこだけでなくお尻まで。

或る日、ご主人様は
何も言わず部屋を出て行ったかと思うと
戻ってきませんでした。

数時間、戻ってこなかった。
ただそれだけのことなのに……もう
私たちは我慢できなくなっていました。

《エルレカ》

ああ、あっ……あん！
ご主人様あ、ご主人っ……様ああ！
早く戻ってきてオチンポをハメて欲しい……ああっ！

《アリエル》

はあ、ああっ、たった数時間、
ご主人様がいなかっただけなのに、
我慢でき……ない！

《エルレカ》

来る日も来る日も淫紋の出力を上げられて
頭がおかしくなりそうなぐらいハメられて……
種付けされて、快楽を教え込まれて……はあ、ああっ！

何もしていなくとも、
おまんこからじゅるじゅるっていやらしいおつゆが
溢れできちゃう……！

《アリエル》

ご主人様のオチンポでないと……
オナニーなんか、じゃ絶頂でき、ない……よね？

《エルレカ》

あ、アリエルも……そうなのね。
最低で最悪の男だと思っていた……のに。

あの大きくてたくましいのを
ぐりぐりっ……！って奥までねじ込まれたら
何もかも、どうでもよくなって……！

あ、ああっ。思い出すだけで
愛液がとろとろ溢れできちゃって……。

《アリエル》

エルレカ、どっちが先にハメで貰えるか勝負よ？

《エルレカ》

わ、分かってるわ。
フェラで勝負だからね？

《アリエル》

あっ……ご、ご主人様ぁ！
お帰りなさいませ……んうう。

は、はい。我慢しきれず、ふたりで
ご主人様に犯される様を想像して
オナニーして、しまっていました……あはぁ。

《エルレカ》

え……？
そうすれば、淫紋が消えるのですか？

《アリエル》

ですが……妊娠して出産となれば……それはもう、
夫婦になるも同然ではないのですか……？

《エルレカ》

そ、そうですよ。
それに……わたしとアリエルの、
いったいどちらが正妻なのですか？
当然、正妻のほうが優先的にハメで
いただけるのですよね？

《アリエル》

エルレカ、抜け駆けはいけませんよ。

ご主人様だってわたしのフェラ、それに
お尻の締め付けは素晴らしいって
褒めてくださいましたよね？

《エルレカ》

なっ……！ アリエルこそ何を言っているのです。
おまんこの締め付け、それに
喉奥までお口ファックした時の
イラマチオはとっても素晴らしい……って。
ご主人様はわたしに褒めてくれたのですよ？

《アリエル》

ご主人様、そこに寝てください。
オチンポにお口でご奉仕いたします。

ご主人様のオチンポ……
もうバキバキにフル勃起してえ……
ああ、この匂い、たまらないですぅ。
早速、根本からあ、れ～ろ、れろちゅぱ。

《エルレカ》

ああ、アリエルずるいです！
わたしのフェラも、存分に味わってください。
れろ、じゅるるるる。

《アリエル》

ちゅっ、ちゅるる……ん、んふう！
ちゅ、ちゅうう、私、知ってるんですよ？
ご主人様は私のお尻まんこにハメて
中出しするのが大好きだ……って。
ちゅる、れろじゅる。

キッチンで裸エプロンして……
お尻にハメで頂きながらお料理するの、れろれろれ～、
さ、最高に気持ちいいんです……！
ちゅぱっ、ちゅるる……
私のほうが正妻に相応しいと思いますよ？

《エルレカ》

じゅっぷじゅぶ！お、お願ひです……ご主人様。
んじゅる、れろ、わたしのことオナホ代わりで構いませんから、れろれろ、
ど……どうか、正妻にしてくださいませ……！じゅるる。

どんなプレイでもご主人様のことを、んじゅる、
楽しませてみせますからあ……！
ちゅむむ、ちゅぱっ！

騎士の誇り？んじゅる、じゅぞぞ。
そ、そんなことはどうでもいいのです……！
わたしのカラダは、れえ～、じゅる、
もうご主人様の為にあるのですから……！

《アリエル》

エルレカ、泣き落としなんてダメですよ。
れろちゅぱ、私だってご主人様のオナホになりたいんですから。

私こそ……どんなプレイにだって応えてみせます。

《エルレカ》

んちゅぱ。どうやら……ご主人様に試して貰うしかなさそうですね。

んああああっ！！？ まっ、またあ……！
今すぐハメて欲しい、ですっ……！

《アリエル》

ふああっ！ はあ！ はあん……！
ご……ご主人様あ！ 準備はバッタリ……です。

このおまんこ、それに大好きなお尻まんこ、
どっちにでもハメてくださいませ……！

《エルレカ》

ど、どうかご主人様の大好きな
キツキツおまんこ……どうぞご堪能ください。

《アリエル》

分かりました、ご主人様。お耳にフェラいたします。

ちゅるりゅ、ちゅっ……ああっ。
ああん。ご主人様あ……！

《エルレカ》

ああっ……ま、待ってましたあ……！

おおお～～～っおおんっ！？
しゅっしゅごおおいいっ！！

奥うっ！ 奥うにいっ届いてるううっ！！
ぐりっ、ぐりってえ！ おんっ！ おおっ！？
すごすぎっ……るううう～～っ！！

《アリエル》

ちゅるっ、ちゅるる！ ちゅぱあ、ちゅるる……！
エルレカったら噴水みたいに愛液を
飛び散らせちゃって……妬けちゃいます……！

《エルレカ》

あああ～～っ！？
頭あっ頓じやうう～っ！！
あっ！ あっああ～～！！
イッちゃっでるんですううう～～っ！！

ズポズポってオチンポ出し入れされるたびい……
おおおんっ！ おんっおおおんっ！！

《アリエル》

ちゅぱ、ちゅうう、ああ……
なんではしたないんでしょう、エルレカったら。
ちゅっちゅるる、んふう、あっ、ああ……！

《エルレカ》

ご主人、様ああっ！ 種付けっ種付けしれっ
くらひやいいっ！！ ひぎっ……ひぎいいっ！！
んひついひいいっイクううイグううううっ！！

射精しれっしでえナカにっナカっあああああ！？
ナカにくだっさいいいい～っ！！
種付けされふえ、ごっご主人様ろお……子供お！
産みたい、ですう……おっおっおおんっ！！

ご、ご主人様もイクんですかあっ！！
あああ～～～っ！！？
イクうう！？ イグうううう～～～っ！！！！

んあああっ！んはあ、はあ、はあっ……！

ナカで収まりきらないぐらいのザーメン、
んんうっ！？ どぶどぶってえ……あ、ああっ！
溢れでえ……も、もったいない……！

あ、溢れたのも全部……わ、わたしがいただきますね？
ちゅぱっ、ちゅっ……んああ、この匂い好きい……！

《アリエル》
ちゅぱ、ちゅるる、ああっ、ご主人様あ。
今度は私めに……どうか、思いっきり
ハメでくださいませ……！

《エルレカ》
今度はわたしがご主人様のお耳に
ご奉仕させて頂きますね……？

ちゅぱっ、ちゅるる……ちゅうう。

《アリエル》
はあ、ああっ……
お尻にぐりぐり擦りつけられてるぅ……！

あ、ありがとう……ございますぅ！

ひっ！？ ひいいんっ……
あっああああ～～～！！！！
はひってくりゅううううう～～っ！！

おっおおんっ！！？
お腹のナカあぐりぐりって来てますうう！！

お尻い！ はっ激しすぎて、
めくれ上がっちゃいますぅうう～～っ！！

あひい！？ ひっ！？ ひぐうう！！
ずんっ！ ずんって一突きで根元まで
突き込まれでえ……るううう～～っ！！
しゅごっしゅごいひいいいい！！

《エルレカ》
ああ、ちゅっ……ちゅるりゅ、ちゅうう！
アリエル……いいなあ……んふふつ。
ちゅっ、ちゅむむ、ちゅる……あはああ。

《アリエル》

おひりい！ おひりっ！
ああああっ！？ ご主人様のオチンポ専用の
穴になっちゃってますうう～～っ！！

おっおっお～～っ！！ おおんっ！！
頭の奥が痺れ、でえ……ああああ～～っ！！？
こ、この感覚ダメですう、クセになっちゃって……！！

《エルレカ》

ちゅるりゅ、ちゅっ、アリエルってば
気持ち良すぎて白目まで剥いて
イキ狂っちゃってますね……！

《アリエル》
あああ～～っ！！ ああ～～っ！！
お腹のナカいいっぱいにザーメン流しこむって……
そっそんなの最高すぎいひい～～っ！！？

中に、中に出してくださいい！
ああ～～っ！！ おおんっお～～っ！！？
イグイグライッ……イグううう～～～～っ！！？
脳みそ灼き切れちゃうううう！！

んあっ、おおお！
ドクッ！ ドクってえ……奥にい！
お尻からお腹の奥にい！ いいっぱいでえ……！
ま、まだ妊娠、してっ、ないのにい……んああ！
精液でお腹パンパンに膨れ、ちゃいますう……！
んはあ、おおお、ああっ！

しゅごいひいっ、まだ出てるまだああ！

《エルレカ》

それで……ご主人様。
どっちを正妻にするか決まりましたか？

あ、一回犯しただけじゃまだ決められないですよね。
そ、それじゃもっと味わってください……！

わたしたちのカラダを……。

んっ、んんっ……あっ！

あ～～～っ！！？

《アリエル》

交わって交わって、まぐわい尽くして
ご主人様のベッドで彼を奪い合うようにして
彼のカラダに手を回して眠る。
それが私たちの日常になった。

そして……それから数ヶ月後。

私たちは皇国の首都にある
ご主人様の邸宅へと
その身を移されることになった。

【トラック8 ホームパーティーで公開種付け懇願セックス】

《エルレカ》

その日、皇国軍の大将5名および
その家族は提督のパーティに招かれた。

そう。つまり、ご主人様の
ホームパーティ…

モーガン大将、お待ちしておりました。
はい……皆様既にお越しです。
ど、どうぞ。お入りくださいませ。
既に皆様……始めていらっしゃいます。

ほ、本日はようこそお越しくださいました。
皇国の祝勝会に……ああっ。

ご主人様、お尻を触っていただきありがとうございます。

ここにいるのは、皇国の属国になった
かつての敵国の女将軍たち……です。

いまや提督の性奴隸として、
ま……毎日、私たちがどういう身分なのか分からされております……んんう。

《アリエル》

まさか敵国から美姫をさらって
性奴隸にしたてて、見せつけあって
品定めするなんて……皆さん本当に良い趣味をしてらっしゃいますね。

んふふ、私は自信を持っていますよ。
え？ 私のことではありません。
ご主人様が一番……ああ、
私たちを満足させてくれる最高のオスだって。

パーク大将。私のことを抱かせろだなんて、
ふふ……ダメですよ。
私たちのご主人様は、あの方だけですから。

それに、貴方にはあそこでバイブをおまんことお尻に入れられたまま
オチンポを待っているメス奴隸がいるではありませんか。

《エルレカ》

んうう、あ、ああっ、それにわたしたちより年下の
女騎士もいるではありませんか。
祖父ぐらいもの年の差がある大将に
首輪と手錠に足輪までつけられて
後ろから犯されて……！

毎日可愛がっているのですか？

あなたもしつけられて幸せですか？
ふふふ……猿ぐつわのせいで声も出ないけど、表情で伝わってきますわね。
大丈夫です、故郷のことなんですが
どうでもよくなりますよ。わたしたちのように……ね。

《アリエル》

ご主人様あ、お料理できました。

でも……皆さんエッチに夢中で……召し上がるのでしょうか？

あそこの女性はお尻もおまんこも
両方ハメられて、もう何も聞こえていませんね。
見ていたら私のおまんこもぐっちゃぐちゃに
濡れてしまいました……ああ、咥えていいですか？

はい……ありがとうございます。
あむっ、じゅぶぶ！　じゅぶっちゅぶぶるっ！！
んみゅうううんうんうう～～！！

《エルレカ》

アリエルったら、ご主人様のを
喉まで咥え込んで……うふふ。
すごいでしょう？　ご主人様ったら
わたしたちの喉を便器のように使ってくださるんです。

オチンポから出すものは全てわたしたちが
受け止める……だってそれがわたしたちの悦びなのですから。

みんな可愛くて綺麗で、と～ってもエッチ……んふふ。

でもお……一番エロくて可愛くて
従順な奴隸はわたしたちですよね？

ああ、そんな。皆さんの前で……んうう。
は、はい。しつけてくださいませ。

《アリエル》

じゅぽっ……！

ああ、エルレカずるいです。
私だって欲しいのにい……！

《エルレカ》

んふふ、パンツなんて穿くわけないじゃないですか。
いつだってご主人様にオチンポをハメて頂けるように
常にここは空いているんです。
誰が見ていようとどこだろうと構いません。

ご主人様にハメでいただける……それが大切なことなのですから。

《アリエル》

エルレカにハメるんですか？

分かりました。

それでは私は、ご主人様のお耳を
フェラチオ…させて頂きますね……。

ちゅぱっ、ちゅっ、んああ好きい……ご主人様あ！

《エルレカ》

んああ！ 後ろからハメて頂くのすごい興奮しますぅ！

オチンポいつもより硬い……？

ご主人様も興奮してるんですかあ？

あっ！？ ああああっ！？

あ～～～っ！ しゅごいいっ！！

ひぎい！ おっおっお、おおお～！！

あああ！？ ご覧っくださいい……！

こっこれがあ！

ご主人様に一番んんっ可愛がられたおまんこぉ！

なんですぅ！ ズズズズってハメられてえ……！

しつけっられてるぅ……正妻のおまんこなんですぅ！

おっ！？ おっおっ！ おおお～～っ！！

おっおおん！ おおお！？ すごっ……すごい！

頭あトぶうトんじやうううっ！！

《アリエル》

ちゅぶぶ、ちゅっ……ちゅる！

エルレカったら、皆様に見られて悦んでる……ちゅるる！

《エルレカ》

ああああっ！？ みつみんなに見られながらイクッ！

イクッイクイクういぐううう！！？

あっあああ！！ そうっそうなんです！

ずっとイッてる、イッてりゅのにい！

もっとすごいの来るっ来ちゃううう！！ あああ！？

イグううう～～～！！！

びゅるるっ、びゅるるってえ……出て、りゅう！

んはあ、はあ！ナカに子種汁う注がれてる、この瞬間、があ……

わっわたし、最高に幸せ、なんです……！

《アリエル》

エルレカの次は私ですよね？

ああ、もちろんです……ご主人様あ。

どうかいやしい私めのお尻おまんこを

皆の前でしつけてくださいませえ……！

《エルレカ》

はっ、はあ、はい……皆様の見ている前で

オナニーしますう。おまんこを指で

ほじって精液どれだけ注がれたのか

見せつけちゃいます……ん、んあああん！

《アリエル》

あっあううん！ 来る……んっ？

あ……ああああ～～っ！？

おっ！？ おおん！！ ずんっ！ ずんってえ！

立ったまんま、お尻の奥まで一突きにされてるのぉ！！

あっ朝あハメで出された分のザーメン、があ

ナカにまだ残ってりゅうう……！

そっそんなに激しくされたら外に掻き出されてえ！

ひうう！？ おっおっお、おお～～！？

おんっおんっおっおっ！！

《エルレカ》

アリエルったら、ああ、はああん！

アナルセックス見られて、おまんこから

ドロドロに愛液垂らしちゃって……妬けちゃう。

《アリエル》

んあああん！？ ずんっ！ ずんってえ！

オチンポをハメられてえ……イクイクライグうう！

わっ私こそご主人様の正妻、なんですか……！！
いっ一日にお尻で10回はご奉仕させて頂いてるんです……！
ああああああ！？ おっお、お～～っ！！
おほおお！？ イグぅう！ いっぢゃううう！！
もうらめえ、イグッ、イグ……イグぅう～！！

びゅくっびゅくってえ出て……ひいい！？
ひんっ！ ひいい！？
ザーメン注がれすぎ、でえ……また
お腹がぱんぱんに膨れ上がっちゃい……ますう！
はあ、はあ！んあ、はあ。

《エルレカ》

ああ、わたしもイキます！ご主人様、わたしの、いやらしくイクところ見てください！
ああああ、いくいくいぐう！！
ん、おおおお！あっ、んあ！
はあはあ、おお、んはあ、はあ。

《アリエル》

はあ、はあ……。
ふえ？
私たち……妊娠4ヶ月、なんですか？

《エルレカ》

ふああ、じゃあわたしたち……ご主人様の
子供を産めるんですね。
嬉しい……んああ、ご主人様の子供……
立派な子になるよう育てますう。

も、もちろんママになっても性奴隸として
お側に仕えさせてくださいね……？

《アリエル》

わっ私のほうこそ、
今まで以上にご主人様にご満足いただけるよう
身体中でご奉仕いたしますね……？
うふふ。

《エルレカ》 《アリエル》

やがてふたりは子を産み、
エルレカの娘は次代の皇太子の嫁に、
アリエルの息子は皇国の元帥になるのだが……
それはまた別の話。